

取組の名称		教材植物園をフィールドとした環境教育の展開
活動主体（団体名）		国立大学法人東京学芸大学環境教育研究センター
活動主体（団体名）（フリガナ）		コクリツダイガクホウジントウキョウガクゲイダイガクカンキョウキョウイクケンキュウセンター
取組の内容 （自由記述）	①概要	武蔵野の里山景観をコンセプトとして、雑木林や草地、池など多様な生態系を維持・管理している。教材植物園をフィールドとした様々な環境教育・自然体験学習を実践し、地域に開かれた管理・運営を展開している。農薬や除草剤を使わず、落葉・落枝、作物残渣等を堆肥化、有機肥料として活用し、園内の物質循環を意識した管理を行なっている。
	②取組内容を確認できるURL （または資料添付）	<a href="https://www2.u-gakugei.ac.jp/~kannkyou/">https://www2.u-gakugei.ac.jp/~kannkyou/</a>
	③実施時期、頻度	1987年（野外教育施設として環境教育が展開されはじめた年）以降37年間・恒常的に実施
	④活動場所（所在地）	東京都小金井市貫井北町4-1-1、東京学芸大学キャンパス内
	⑤活動の規模（参加者数）	環境教育選修の学生約80名を中心とし、本学教職員・学生、地域住民等が活用（面積：約1.5ha）
	⑥活動状況がわかる写真（撮影年月日）（既に実施している場合）※	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>2019年6月5日</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>2024年5月11日</p> </div> </div>
対応する社会課題 （該当する項目にチェック／複数選択可）		<input checked="" type="checkbox"/> 子供の福祉（子供の健やかな成長を社会全体でサポート） <input checked="" type="checkbox"/> 都民の健康・長寿（誰もが元気で心豊かに暮らせる地域の実現） <input checked="" type="checkbox"/> コミュニティ形成（誰もが集い、支え合うコミュニティを至るところに形成） <input checked="" type="checkbox"/> 防災・減災／気候変動対策（地球温暖化に伴う豪雨や自然災害等の被害軽減） <input checked="" type="checkbox"/> 地域振興（東京全体の生産性、魅力向上） <input type="checkbox"/> 観光・文化振興（人々のウェルビーイング、東京のプレゼンス向上） <input type="checkbox"/> 農林水産業の成長（危機に強い産業構造への転換） <input checked="" type="checkbox"/> 緑や水辺を生かした空間の創出／自然地保全・管理（都市機能を高め、世界を魅了）
活用している生態系の機能 （該当する項目にチェック／複数選択可）		<input checked="" type="checkbox"/> 供給サービス（日々の暮らしに必要な資源を供給／食料、繊維、木材、水、薬品など） <input checked="" type="checkbox"/> 調整サービス（二酸化炭素の吸収） <input checked="" type="checkbox"/> 調整サービス（都市環境の質の向上／ヒートアイランド現象・暑熱環境の緩和） <input checked="" type="checkbox"/> 調整サービス（都市環境の質の向上／大気汚染や騒音の低下） <input checked="" type="checkbox"/> 調整サービス（災害の緩和／台風、洪水、津波、地滑り、雨水浸透、Eco-DRR） <input checked="" type="checkbox"/> 調整サービス（水質の浄化／窒素やリンの吸収、有機物の取り込み） <input checked="" type="checkbox"/> 調整サービス（花粉媒介／植物の世代交代、農作物の収穫量の増加） <input checked="" type="checkbox"/> 文化的サービス（精神を豊かにする機能／芸術的・文化的なひらめき、教育的効果、心身のやすらぎ、観光レクリエーションなど） <input checked="" type="checkbox"/> 基盤サービス（生息・生育環境の提供） <input checked="" type="checkbox"/> 基盤サービス（光合成による酸素の生成） <input checked="" type="checkbox"/> 基盤サービス（地力の維持及び栄養循環）
貢献の内容 （自由記述）		<p>①人間の幸福に対して</p> <p>地域の生物多様性保全の拠点になるだけでなく、地域の人々の散策の場として開放することで、希少な生き物を地域の人々が直接観察したり、触れ合うことができる場となっている。</p> <p>地域の人々が、園での散策や体験活動等を通じて、季節の移り変わりや自然の恵み（栽培種だけでなく、野生種も含め）を直接的に実感できる場となっている。また、来園者間での交流の場となっている。</p> <p>地域の子どもの体験活動等を積極的に受け入れることで、子どもたちの教育の場や日常的な自然体験の場として、重要な役割を担っている。</p> <p>②生物多様性に対して</p> <p>園内の水田や池では、東京都の絶滅危惧種（アオイトトンボ、ニホンアカガエルなど）が生息している。また、希少な水草（ホシクサ、アブノメ）も記録されている。</p> <p>園内では、25種以上の鳥類が確認されており、オオタカによるヒヨドリの捕食の様子などが観察されることもある。草刈りの頻度が異なる草地や樹林地が広がっており、多様な昆虫類（200種以上）が生息している。</p> <p>教材植物園の生物多様性保全への寄与が評価され、2023年度（後期）に「自然共生サイト」の認定を受けた。</p>